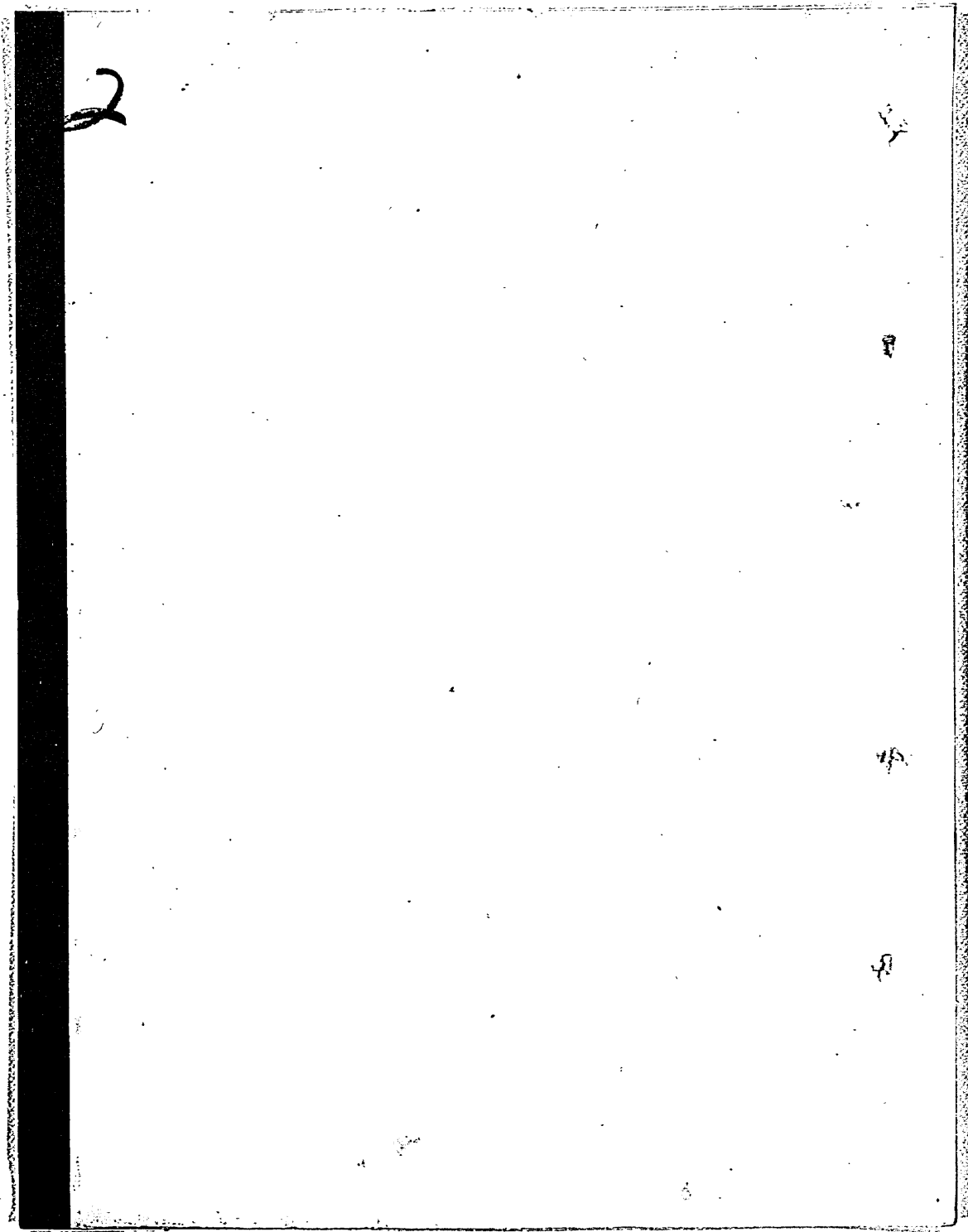




3-2094

0079

通商公報
大正拾年六月拾五日
第百八十四號

16796

公信第一 三號

大正十年 三月 廿日

在上海

總領事 山崎 馨

第百八十四號

外務大臣 伯爵 內田 康 哉 殿

怡和洋行ノ航運業發展

大正拾年六月拾五日記錄第二部接受

本月廿日附公信第一三號ヲ以テ申進候當館附選信技師岡本誠報告書別紙ノ通
リ及進達候間御査閱相煩度候 敬具

在上海日本總領事館

怡和洋行ノ航運業發展

怡和洋行ハ從來揚子江航行船トシテ德和 (Zuckow) 隆和 (Loongwo) 聯和 (Luenho) 瑞和 (Suimo) 吉和 (Kutwo) 華利 (Whahlee) ノ六艘ヲ使用シ
來リ華利號ノ裝ニ備給契約満期ニ依リ之ヲ三北輪埠公司 (San Peh Steam Navigation co., Ltd.) ニ返還セタルヲ以テ威澄號 (Waisung) ヲ補充トシテ
該航路ニ就カシメ後更ニ和生號 (Wosung) ヲ加入セシメタルカ冬期ニ至リ該
水ノ爲吃水大ナル威澄號ハ航行不能トナリタルヲ以テ之ニ更フルニ淺吃水船
怡生 (Esang) ヲ以テシ現在七艘ノ汽船ヲ以テ揚子江航路ニ營業セツツアリ
而シテ同洋行ノ營業現況ハ漢口、九江、蕪湖等ヨリ上海ニ至リ輸出貨物ハ雜
穀類ノ輸出頗ル盛盛ニシテ太古招商局ニ劣ラス又上海ヨリ前記各港ニ至ル輸
入貨物ハ淡水ノ爲充分ノ船足迄載貨シ難キ狀況ニアリ故ニ昨年中ニ於

在上海日本總領事館

ケル同社ノ揚子江航路ノ平均益計ハ太古、招商局ノ巨利ヲ獲得セルニ比較ス
レハ劣レルモ日清汽船會社ヨリモ較優レリ今平太古、招商局ノ兩社ハ新ニ揚
子江專用ノ汽船ヲ建造セル怡和洋行モ亦本社カ香港ニ所在スルニモ拘ハラ
河川船一艘ヲ建造セリ但シコハ揚子江就航船ノ増加ヲ意味スルニ非シテ怡
和洋行ノ代船トシテ建造セラレタルモノニシテ外洋船一隻ノ増加ヲ意味スルモ
ノナリ二月二十八日印度支那航業會社 (Indo-China S.N.Co., Ltd.) 本店ヨリ
ノ來電ニ揚子江用新造船ハ既ニ落成シ本月中旬上海ニ到着シ直ニ揚子江航路
ニ就スヘシトアリ聞ク處ニ依レハ該船ノ船名ハ其相又ハ怡和ト命名セザル
トノ説アリシモ意ニ依リサルヲ以テ決定スルニ至ラス更ニ別名ヲ撰定セラル
ヘキモ「和」ノ字ヲ下ニ附スルコトハ同洋行ノ舊例ニ從ハルヘシト聞フ
船名決定ノ上直ニ上海ニ向ケ山軌スヘタ斯クテ怡和ノ代船ハ拔カレテ上海航

在上海日本總領事館

頭線ニ向ケラルヘシ

同洋行カ揚子江ニ七般ヲ就カシムルコト確定スルヤ今後ノ方選針ハ外洋航路
ノ發展ニ存シ(即チ香港、汕頭、廣東、上海線及上海、青島、大連、芝罘
線)從來有セル南生、春生、新生、豐生、青生、金生、日升、臨生、捷生、
阜生(以上十般ハ香港、印度、新嘉坡、比律賓、日本間ヲ航行セツツアリ)
官升、景昇、廣生、財生、恆生、永生、同生、裕生(以上八般ハ香港、廣東、
上海、芝罘、威海衛間ヲ航行セツツアリ)ノ外本年ハ德生、榮生、隆生、泰
生等諸船ヲ陸續加入セシメ茲ニ怡生、威生兩船ヲ汕頭、廣東及上海、青島、
浦口ニ廻シ一面ニハ香港ニ於テ新造中ノ工畢ヲ急キツツアリ香港來電ニ依
レハ兩船ハ遅クとも五月中旬ニ竣工シ直ニ上海ニ至リ上海香港間ノ航海ニ從事
ヘキ豫定ナリト蓋シ昨年中ニ於ケル同洋行經營各航路ノ内上海香港、廣東

在上海日本總領事館

線角以テ最モ發展セルモノトシ各船毎航滿載ノ盛況ヲ呈シウツアルヲ以テ本年モ亦同航路ニ全力ヲ傾注スヘキ方針ナル由ナリ
揚子江中流及宜昌、沙市、岳州、重慶間ノ航路モ亦各汽船會社競争ノ焦點ニシテ同洋行ノ從來派出セル汽船ハ昌和、江和アリシニ今同國利、順和、恆和等ノ三船ヲ加ヘ香港、廣東方面間メ揚子江内ニ直通セシムル計畫ナリト聞フ

在上海日本總領事館

三 怡和洋行ノ航運業發展

怡和洋行ハ從來揚子江航行船トシテ德和 (Zuckwo) 隆和 (Loongwo) 聯和 (Luenho) 瑞和 (Suiwo) 祥和 (Kutwo) 華利 (Wahlee) ノ六艘ヲ使用シ來リ華利號ノ養ニ備給契約滿期ニ依リ之ヲ三北輪埠公司 (San Peh Steam Navigation co. Ltd.) ニ返還シタルヲ以テ威遠號 (Waihsing) ヲ補充トシテ該航路ニ就カシメ後更ニ和生號 (Wosang) ヲ加入センメタルカ冬期ニ至リ減水ノ爲吃水大ナル威遠號ハ航行不能トナリタルヲ以テ之ニ更フルニ淺吃水船怡生 (Esang) ヲ以テシ現在七艘ノ汽船ヲ以テ揚子江航路ニ營業シツツアリ而シテ同洋行ノ營業現況ハ漢口、九江、蕪湖等ヨリ上海ニ至リ輸出貨物ハ雜穀類ノ搬出頗ル繁盛ニシテ太古招商局ニ劣ラス又上海ヨリ前記各港ニ至ル輸入貨物ハ減水ノ爲充分ノ船足迄載貨シ難キ狀況ニアリ故ニ昨年中ニ於

在上海日本總領事館

72

ケル同社ノ揚子江航運ノ平均統計ハ太古、招商局ノ巨利ヲ獲得セルニ比較ス
レバ劣レルモ日清汽船會社ヨリモ較優レリ今年太古、招商局ノ兩社ハ新ニ揚
子江専用ノ汽船ヲ建造セル怡和洋行モ亦本社カ香港ニ所在スルニモ拘ラス
河用船一艘ヲ建造セリ但シコハ揚子江就航船ノ増加ヲ意味スルニ非シテ怡
和號ノ代船トシテ建造セラレタルモノニシテ外洋船一隻ノ増加ヲ意味スルモ
ナリ二月二十八日印度支那航業會社 (Indo-China S.N.Co., Ltd.) 本店ヨリ
ノ來電ニ揚子江用新造船ハ既ニ落成シ本月中旬上海ニ到着シ直ニ揚子江航路
ニ就江スベシトアリ聞ク處ニ依レハ該船ノ船名ハ共和又ハ怡和ト命名セカ
トノ說アリシモ意ニ愜ハサルヲ以テ決定スルニ至ラス更ニ別名ヲ選定セカ
ベキモ「和」ノ字ヲ下ニ附スルコトハ同洋行ノ慣例ニ從ハルベシト謂フ
船名決定ノ上直ニ上海ニ向ケ出帆スベク斯クテ怡和號ノ代船ハ拔カレテ上海

在上海日本總領事館

73

頭線ニ向ケラルヘシ
同洋行カ揚子江ニ七艘ヲ就カシムルコト確定スルヤ今後ノ方邊針ハ外洋航路
ノ發展ニ存シ(即チ香港、汕頭、廣東、上海線及上海、青島、大連、芝罘
線)從來有セル兩生、春生、福生、麗生、貴生、金生、日升、顯生、捷生、
阜生(以上十艘ハ香港、印度、新嘉坡、比律賓、日本間ヲ航行シツツアリ)
官升景興、廣生、財生、恆生、永生、同隆、裕生(以上八艘ハ香港、廣東、
上海、芝罘、威海衛間ヲ航行シツツアリ)ノ外本年ハ德生、樂生、隆生、泰
生等諸船ヲ陸續加入セシメ義ニ怡生、威生兩船ヲ汕頭、廣東及上海、青島、
浦口ニ廻シ一面ニハ香港ニ於テ新造中ノ工事ヲ急キツツアリ香港來電ニ依
レバ兩船ハ遅クトモ五月中ニ竣工シ直ニ上海ニ至リ上海香港間ノ航海ニ從事ス
ベキ豫定ナリト蓋シ昨年中ニ於ケル同洋行經營各驛航路ノ内上海香港、廣東

在上海日本總領事館

74

線ヲ以テ最モ發展セルモノトシ各船毎航滿載ノ盛況ヲ呈シツツアルヲ以テ本年モ亦同航路ニ全力ヲ傾注スヘキ方針ナル由ナリ
揚子江中流及宜昌、沙市、岳州、重慶間ノ航路モ亦各汽船會社競争ノ焦點ニシテ同洋行ノ從來派出セル汽船ハ昌和、江和アリシニ今回同和、順和、恆和等ノ三船ヲ加ヘ香港、廣東方面間ハ揚子江内ニ直通セシムル計畫ナリト謂フ

(以上三頁三十日附)

在上海日本總領事館